

## 山階鳥類研究所所員による「テーマトーク」実績リスト

※毎月第2土曜日に我孫子市鳥の博物館 2階多目的ホールで行っています。

【参加費】無料(入館料が必要) 【定員】各回とも先着50名

【主催・問い合わせ先】 山階鳥類研究所(TEL. 04-7182-1101)、我孫子市鳥の博物館(TEL. 04-7185-2212)

回	年	月日	演者	タイトル
1	2011年	5月14日	平岡 考	正倉院宝物バードウォッチング
2	2011年	6月11日	浅井芝樹	クマタカのDNA研究
3	2011年	7月9日	出口智広	小笠原へのアホウドリ再導入プロジェクト
4	2011年	8月13日	尾崎清明	ヤンバルクイナはなぜ飛ばないか
5	2011年	9月10日	鶴見みや古	小川三紀を知っていますか -オガワコマドリに名を残す天逝の鳥学者-
6	2011年	10月8日	林 良博	ニワトリの原種・赤色野鶏の素顔
7	2011年	11月12日	岡 奈理子	海鳥のヒナの肥満のなぞを解き明かす
8	2011年	12月10日	山崎剛史	骨のかたちと島でのくらし ～八重山諸島に特産するオサハシブトガラスの形態進化～
9	2012年	1月14日	佐藤文男	東日本大震災が三陸沿岸の海鳥繁殖地に与えた影響
10	2012年	2月11日	齋藤武馬	メボソムシクイの謎を解く～3種に分かれた同種の分類について～
11	2012年	3月10日	茂田良光	ホオジロの個体変異と亜種について
12	2012年	4月14日	岩見恭子	鳥類標本の製作技法の研究
13	2012年	5月12日	富田直樹	ウミネコと人は持ちつ持たれつ ～餌資源に対する採餌行動の時空間的反応～
14	2012年	6月9日	仲村 昇	日本の海鳥は今一繁殖地で見られた諸問題一
15	2012年	7月14日	吉安京子	シロチドリ採餌戦略、カニカゴカイか
16	2012年	8月11日	浅井芝樹	マダガスカル動物
17	2012年	9月8日	平岡 考	鳥の絵と鳥類研究 ～鳥類画家小林重三を中心に
18	2012年	10月13日	小林さやか	普段は入ることができない博物館の裏側
19	2012年	11月10日	茂田良光	キビタキの亜種について
20	2013年	12月8日	富田直樹	兄弟げんかをやわらげる親の思い～ウミネコの卵の話
21	2013年	1月12日	佐藤文男	デコイに恋したアホウドリ 鳥島のデコちゃんのルーツ解明される
22	2013年	2月9日	岩見恭子	農耕地に暮らすタカ～トビの生態～
23	2013年	3月9日	米田重玄	最近の中国のトキ事情
24	2013年	4月13日	平岡 考	ヤキトリの鳥類学
25	2013年	5月11日	鶴見みや古	画像でみる山階鳥類研究所の昔とゆかりの人たち
26	2013年	6月8日	岡 奈理子	鳥の行動から放射能被曝を予測する～海鳥オオミズナギドリを例に考える～
27	2013年	7月13日	尾崎清明	ズグロカモメはどんな鳥？
28	2013年	8月10日	山崎剛史	鳥類の分類はなぜ変わるのか、どのように変わったか？
29	2013年	9月21日	浅井芝樹	日本に生息するミソサザイに地理的な違いはあるか？
30	2013年	10月12日	齋藤武馬	DNAから分かるカワラヒワの地域変異
31	2013年	11月9日	仲村 昇	標識調査による陸鳥の繁殖モニタリング調査(MAPS)
32	2014年	12月14日	茂田良光	南西諸島の南北で異なるリュウキュウキビタキの特徴
33	2014年	1月11日	岡 奈理子	海鳥とノネコの仁義なき戦い 一伊豆諸島御蔵島の今一
34	2014年	2月8日	岩見恭子	鳥の死体は語る 一解剖してみたて分かること一
35	2014年	3月8日	平岡 考	採集人折居彪二郎と山階鳥類研究所
36	2014年	4月12日	富田直樹	日本の海鳥の今を知る～環境省モニタリングサイト1000とは～
37	2014年	5月10日	仲村 昇	鳥の色素異常について
38	2014年	6月14日	出口智広	チャタムアホウドリの新繁殖地形成について
39	2014年	7月12日	米田重玄	一夫多妻のタマシギの繁殖生態
40	2014年	9月13日	齋藤武馬	日本産鳥類の固有種が大幅に増えるかも？一日本繁殖鳥類234種のDNAバーコーディングの成果について一
41	2014年	10月11日	鶴見みや古	鳥といっしょにくらしています 一外部寄生虫の世界一
42	2014年	12月13日	千田万里子	絶海の孤島で生きるモズの子育て戦略
43	2015年	1月10日	佐藤文男	絶滅危惧種クロシジロウミツバメの生態と保全
44	2015年	2月14日	森本 元	ルリビタキの茶色い雄と青い雄は争い方が同じなのか
45	2015年	3月14日	小林さやか	明治・大正期の鳥類標本 一帝室博物館コレクション一
46	2015年	4月11日	尾崎清明	飛ばないクイナ類の保全状況 一ヤンバル・ロードハウ・ニュージランドクイナ一
47	2015年	5月9日	吉安京子	バンディングってなあに？
48	2015年	6月13日	平岡 考	バードウォッチング入門～入門済みの人はちょっと復習～
49	2015年	7月11日	佐藤文男	アホウドリ復活から学ぶこと
50	2015年	8月8日	出口智広	小笠原へのアホウドリ再導入作戦のこれまでの成果
51	2015年	10月9日	浅井芝樹	ウグイス亜種の謎についてDNAで調べたら？!
52	2015年	12月12日	山崎剛史	鳥類学とバイオメティクス ～鳥をまねた物づくり
53	2016年	1月9日	富田直樹	なかなか行けない海鳥繁殖地ってどんなところ？
54	2016年	2月13日	鶴見みや古	鳥に乗ってちゃっかり移動？一マダニの大旅行一
55	2016年	3月12日	仲村 昇	ジオロケータで判明したブッポウソウの越冬地
56	2016年	4月9日	岩見恭子	オス？メス？見た目ではわかる？雄化する鳥の謎
57	2016年	5月14日	茂田良光	シギ・チドリ類の渡りを追って！
58	2016年	6月11日	岡 奈理子	オオミズナギドリの持ち時間一ノネコが激増する世界最大繁殖島・御蔵島の今一
59	2016年	7月9日	千田万里子	鳥にまつわる法律のハナシ
60	2016年	8月13日	齋藤武馬	ミソサザイってどんな鳥？こんな鳥
61	2016年	10月8日	小林さやか	明治期の標本が語るもの～絶滅鳥カカロライナインコ～
62	2017年	2月11日	出口智広	アホウドリ 小笠原での繁殖成功が意味するもの
63	2017年	3月11日	平岡 考	毎日運行する漁船で営業したツバメ
64	2017年	4月8日	森本 元	生き物の不思議を暮らしに活かす『バイオメティクス』～鳥の色の話題を中心に～
65	2017年	5月13日	尾崎清明	なぜアホウドリやトキを保護するの？
66	2017年	6月10日	浅井芝樹	その学名でいいの？一日本鳥類目録第7版を評価する
67	2017年	7月8日	吉安京子	鳥類標識調査 近年の話題から
68	2017年	8月12日	鶴見みや古	書籍にみる飼い鳥文化 一一大正から昭和にかけて一
69	2017年	10月14日	山崎剛史	鳥の系統学の今 ～ハヤブサはワルぶったインコなのか